

止計画においては、特に建設業及び製造業の労働災害防止対策の推進を重点に掲げ、セーフワーク運動などを推進します。全国安全週間のスローガンの下、宮古地区の労働者一人一人が安全に働くことができる職場環境を築くために、「労使一丸となった取組をお願いします。」旨来賓挨拶がありました。

大久保宮古監督署監督官からは、令和 5 年度全国安全週間の実施要綱及び労働災害発生状況についての説明がありました。



特別講演では、「痛みなく健康な体で仕事が続けられるための簡単体操」と題して、ハチワレスポーツの健康運動指導士である平良真菜美氏より腰痛予防の講話があり、簡単で効果的な体操を参加者全員で行いました。

平良建災防沖縄県支部宮古分会長が読み上げた大会宣言を採択し、労働基準協会宮古支部安全衛生部会、建災防宮古分会 SP 会を筆頭に参加者全員でスローガンに向かい指差唱和が行われ、労働災害ゼロに向け決意を新たにしました。



八重山地区

6 月 7 日(水)、石垣市民会館中ホールにて令和 5 年度第 31 回八重山地区安全大会を開催し、96 名が参加しました。参加者全員で黙祷を捧げたあと、米盛建災防八重山分会長のあいさつで開会し、建災防指導員による指差唱和が行われた。宮良八重山支部長からは「【安全の見える化】や【災害の無い職場環境のためのコミュニケーションを図る工夫】を具体化して自分たちの職場を安全・安心なゼロ災職場にする、八重山地区において一人の被災者を出さないという決意を新たにしましょう」と呼び掛けました。



渋谷八重山労働基準監督署長からは、「労働災害で後遺障害が残るとそれまで行っていた仕事ができなくなることもあり、本人や家族までもが人生を大きく変えられることもありえる。事業場も経済的損失が発生する。そうならないように普段から労働者が安全かつ安心して働くことができる職場づくりに取り組むことは非常に重要であり、結果として人材の確保・育成を始めとする組織の活性化や業績の向上、ひいては社会的価値の向上に繋がる。全国安全週間は安全意識を高める良い機会であり、是非とも有意義なものにしていただきたい。」旨のあいさつがありました。

田村八重山監督署労働基準監督官からは、八重山監督署管内の労働災害は転倒災害、腰痛等の動作の反動無理な動作による災害が上位となっており、重大災害につながる墜落災害もある等の説明がありました。

支部表彰では、(株)米盛建設工業(代表取締役米盛博明)と(有)昭電工業(代表取締役砂川一晃)が表彰されました。最後に、共和産業(株) 石垣支店の佐伯和佳奈より大会宣言が読み上げられ、労働災害のない安全・安心なゼロ災職場づくりを目指すことを誓い安全意識を高めました。



**第82回(令和5年度)
全国産業安全衛生大会
in 名古屋
令和5年 9月27日(水)~29日(金)**

会場 ポートメッセなごや
※全国大会参加ツアー申込受付中(締切日7/25)

お問い合わせ先 (一社)沖縄県労働基準協会
総務 098-868-2826

※裏面の「令和5年度全国安全週間実施要綱について」もご覧ください。

全国産業安全衛生大会
会期: 9月27日(水)~29日(金)
会場: ポートメッセなごや
料金: 一般: 18,500円(税込)
特典: JISHA 中災防